

第16回「東西文化の融合」国際シンポジウム

大学における異文化間の共創

—教育の実践から生み出されるもの—

日時：2024年10月20日（日）10:00～16:30

場所：大東文化会館（東武東上線 東武練馬駅 徒歩1分）

事前参加申込不要

❖午前部 日本語文化学専攻 大学院生研究発表

10:00 開会の辞 本学外国語学研究科日本語文化学専攻主任 上村圭介

■日本語文化学系：ホール

10:15-10:45 『女実語教』『女童子教』の位相

陳玥琳（日本語文化学専攻前期課程1年）

10:50-11:20 『桃太郎発端話説』の趣向

小形駿介（日本語文化学専攻前期課程2年）

11:25-11:55 『訓蒙図彙』元禄版本と本草書

張艶軍（日本語文化学専攻後期課程3年）

■応用日本語学系：302講義室

10:15-10:45 因子分析によるラオス語、タイ語、中国語母語話者の日本語学習者における漢字学習ストラテジーの比較

サイヤリン・プッタソーン（日本語文化学専攻後期課程1年）

10:50-11:20 現代ラオス語の声調—標準語と方言の比較—

濱岡佑帆（日本語文化学専攻後期課程3年）

11:25-11:55 人物カテゴリーにおける心的距離の評価

—日本語母語話者と中国語母語話者のデータから—

趙丹楠（日本語文化学専攻後期課程3年）

12:00-12:30 ラオス語の未来マーカー-si /caについて—日本語のスル形との比較—

ホーラーヌパーブ・シースター（日本語文化学専攻後期課程3年）

❖午後部 大学における異文化間の共創—教育の実践から生み出されるもの—

■講演：ホール

13:00-13:20 異文化間の「共修」から「共創」へ—多様な教育の実践を通して—

田崎敦子（本学日本語学科教授）

13:20-14:20 朗読劇『セロ弾きのゴーシュ』の異文化交流と教育実践

—留学生と日本人学生の協同学習—

菅野友巳（本学日本語学科非常勤講師）

学生による朗読劇『セロ弾きのゴーシュ』（本学日本語学科1年）

14:30-15:00 CROSSING VISIONS: イタリアで日本語と日本文化を教える

Diego Cucinelli（フィレンツェ大学言語教育学部准教授）

15:00-15:30 言語と専門の異なりから得るもの

結城佐織（アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター専任講師）

■パネル・ディスカッション：ホール

15:45-16:30 「教育の実践における共創の可能性」

司会：田崎敦子 パネリスト：菅野友巳・Diego Cucinelli・結城佐織

・閉会の辞 本学日本語学科教授 蔵中しのぶ

主催：大東文化大学大学院外国語学研究科日本語文化学専攻

共催：大東文化大学外国語学会日本語部会・大東文化大学東洋研究所